



学校図書館だより

9月号

令和3年9月
柏市立富勢中学校
柏市学校図書館指導員
岩瀬 瞳

長いと思っていた夏休みもあっという間に終わってしまいました。「いつもとは違う」生活がスタンダードになりつつあるこの頃ですが、ウィルスの変異も社会的状況も刻一刻と変化しています。不安はなくなるとも、わからないことや解決できないでいることに、大人も子どもも一緒に向き合っよりよい状況を生み出そうとするまたとない機会です。歴史に学び、先達に希望を見出す。活路を開こうとする思いに、本はきっと応えてくれると思います。



蔵書点検中



緊急事態宣言発令中の現在は、昼休みがないため、図書館は閉館中です。この期間を利用して、現在図書館の蔵書点検を行なっています。蔵書点検は市や学校にとっての共有財産である本が、正しく大切にされ、所蔵されているかを確認する作業です。お手元に未返却の本がありましたら、返却ボックスまで返却をお願いします。



夏休み貸出本の返却は
9月11日までにお願いします。

返却は返却ボックスにお願いします。

*図書館の開館については
また改めてお知らせします。



今月のおすすめ

『パラリンピック大事典』

和田 浩一監修 金の星社 〈780/パラ〉

パラリンピックとは、体や視覚などに障害のある人を対象にした、世界最高峰のスポーツ大会のことです。4年に1度、夏季および冬季オリンピック終了後に開催されています。もとはリハビリテーションとして始まった障害者スポーツですが、現在は競技スポーツへと発展しています。

さまざまなちがいを持つ人同士が支え合って生きていくことのできる社会とはどんな社会なのか。生き生きと熱く活躍するパラリンピアン姿から、私たちも一緒にこれからの社会のありかたを考えてみませんか。



『転んでも、大丈夫

ぼくが義足をつくる理由』

臼井 二美男 著 ポプラ社 〈494/ウス〉

「あきらめない」を手助けしたい。スポーツ義足制作の第一人者・臼井二美男さんが書く初の著書。義足づくりの現場に飛び込んだきっかけや仕事をする中での苦悩、数々の困難を乗り越え、義足の選手がパラリンピックに出場するようになるまでの過程が丁寧にえがかれています。

「足を失った人にも、スポーツを楽しむ喜びを感じてほしい」「不運な事故や病気に、人生の可能性をつぶされてはいけない」そうした思いを抱えて作られる臼井さんの義足は、患者さんの体だけでなく、心も支え続けています。



3年生、ビブリオバトルに挑戦中！！



3年生が国語の授業でビブリオバトルに挑戦中です！どのクラスでもすばらしい発表が続いています。

ビブリオバトルでは、それぞれ自分の好きな本を1冊持ちより、決められた時間内にその本の魅力を伝えます。「その本、読んでみたい！！」と一番多くの人が思った本がチャンプ本として選ばれます。ビブリオバトルは「人を通して本を知る、本を通して人を知る」ことのできる本の紹介コミュニケーションゲームと言われています。本を読むこと、人を知ることとは心がワクワクするものです。どんな本が選ばれるのか楽しみですね。

